



1月園だより



2025年1月6日

ききょう保育園

新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。



2024年は、みなさまにとってどんな年でしたか。ききょう保育園は、1972年の創立から52年目を迎え、保育理念の一部改訂がありました。法人の基本理念の第一に長らく掲げてきた「子どもの人権を尊重する」の一文は、2024年4月より「すべての人々の人権を尊重する」に変わりました。ききょう保育園では「子どもの人権尊重」は、当然のことと捉えたうえで、子どもだけでなく、親御さんも、地域の方々も、職員もすべての人々に人権があるという基本を理念に据えました。考え方や価値観が違っていても、お互いを尊重し、認め合い、家庭の延長線上にある「昼間の大きなおうち」で子どもたちがのびのびと過ごすことができるよう、環境の充実を図っていききたいという思いです。

保育内容の見直しや、暑さ対策による行事日程の変更なども行いましたが、保育の中で子どもたちの姿を見て、保護者のみなさまと日々、お子さんの成長を共有する中で、行事を通じて行うやり取りの中でなど、理念を尊重して下さっていることを実感する場面が多くありました。温かいまなざしで保育運営を見守ってくださることに職員一同心より感謝申し上げます。当たり前にお互いを認め合える地域づくりの拠点となれるよう、保育園、一時保育、子育て広場、病後児保育それぞれの視点から、話し合いの機会をこまめに設け、小さな実践を積み重ねていけるような一年にしたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いたします。

1月の予定

- 8日(水) 新年あけましておめでとう集会
太鼓の叩き初め
- 9日(木) 身体測定
- 17日(金) ひなた村陶芸教室②(5歳児)
- 20日(月) 避難訓練
- 24日(金) 凧揚げ遠足 in 真光寺公園(5歳児)
予備日 30日(木)
- 28日(火) ツクイ訪問(5歳児)
- 31日(金) 誕生会

※ 中学生の職場体験(1月22日~24日)と保育を学ぶ学生の保育実習(2週間)があります。学生が保育室に入り子どもたちと一緒に過ごします。

1月の予定

新年あけましておめでとう集会 8日

全園児が集い、新年のあいさつをします。そして、新年のお祝いに太鼓の叩き初めをします。職員が太鼓を叩いた後は、子どもたち一人ひとりが太鼓を叩きます。0～4歳児は自由に、5歳児のききょう組は「八丈島太鼓」に挑戦します。

ひなた村陶芸教室②（5歳児） 17日

12月、1回目の陶芸教室で、コップと皿を作りました。ひなた村の方に素焼きをしていただき、今回は釉薬をかけます。焼くと色が変わるため、どのように仕上がるかは焼いてからの楽しみです。

凧揚げ遠足 in 真光寺公園（5歳児） 24日

保育園から真光寺川沿いを歩き、広袴から尾根道に入って現地を目指します。5月は新緑の公園を満喫しました。今回は寒い時期ですが、広々とした場所で凧揚げをすることが目的です。みんなの凧が元気に揚がりますように。

12月の保育園

荒馬座公演 12月7日（土）



鶴川市民センターのホールにて、民族歌舞団「荒馬座」による公演と小学生太鼓と職員太鼓の発表を行いました。在園児だけでなく地域の方、小学生の保護者、一般の方、たくさんの方にお越しいただきました。小学生太鼓は卒園生中心に月に1回集まり、「八丈島太鼓」の練習をしてきました。上級生にリードしてもらい、元気な太鼓を発表することができました。職員は、荒馬

座の座員さん指導の下「ぶち合わせ太鼓」を叩き、荒馬踊りの太鼓と笛に挑戦しました。

荒馬座公演では、獅子舞、荒馬踊り、ソーラン節、ぶち合わせ太鼓。目の前で色鮮やかな衣装で踊る姿を見たり、歌や和太鼓の響きを全身で感じたりすることができました。5歳児はソーラン節で舞台に上がる経験もしました。卒園生も太鼓のリズムに思わず身体が動いたようで舞台の下で力強く踊っていました。



もちつき 12月25日（水）

子どもたちはもちつきの見学をしながら、蒸したてのもち米を一口ずつ試食しました。5歳児のききょう組は、子ども用の杵を持ってもちつきをしました。杵を振り下ろすタイミングに合わせてみんなで「よいしょ～」と掛け声をかけたり「がんばって!!」と声援を送ってたりしていました。「もちつき」は日本の伝統文化として大切にしたい行事です。年末に臼と杵を使ってもちをついて鏡餅を作り、新年に「幸せな年になりますように」と願いを

込めて飾ります。食育の意味も込めて、もち米をこねて、何度もつくことでおもちができていく過程を見て欲しいと思っています。今年も園の環境整備に来てくださっているボランティアの中村さんがお手伝いをしてくださいました。

近年、「もちつき」は、この行事による食中毒発生や窒息事故の原因として、リスクの大きい行事であるため、保育現場から無くなっていく傾向にあります。ききょう保育園では、文化の継承として、これからも続けていきたいと考えています。その為には衛生・安全管理は欠かせません。臼と杵でついたお餅は鏡餅にして、当日食べるお餅はすべて機械で作ったものにし、試食程度の量ですが食べるときには通常の食事以上に気をつけて提供しています。提供は3歳児以上としています。



幼児パーティー 12月26日(木)

12月中旬より、3・4・5歳児クラスを中心にインフルエンザが流行しました。計画では劇ごっこをすることになっていましたが、登園が半数を割る日が数日続いたため、子ども同士の打ち合わせの時間も取れませんでした。子どもたちと相談して「うたと楽器」「踊り」のグループに分かれ披露しました。最後はみんなで輪になって歌い、お菓子を食べて楽しいひと時を過ごしました。事前の練習のときには参加しなかった子が、当日は大きい子に誘われると自然にみんなの前へ出て楽器をしていたり、踊っている友だちを見て、客席から手拍子をして盛り上げている子がいたりと素敵なパーティーでした。



お知らせ

◆第12回新春こども絵画展のお知らせ

町田市文化・国際交流財団が主催する絵画展に、ききょう組の子どもたちの「獅子の絵」を展示しています。「鶴川で育った子どもたちの豊かな成長を、絵画を通じて来館者のみなさまに感じていただくことで、鶴川地域の保育園、並びに鶴川という地域の持つエネルギーをPRする」という趣旨で行われています。

場所:和光大学ポプリホール鶴川3階展示スペース

期間:2025年1月31日(金)まで展示されています。(AM9:00~PM5:00)